

令和5年度 よこはま 夢ファンド 報告書



横浜市

よこはま夢ファンド制度の概要

『よこはま夢ファンド』（横浜市市民活動推進基金）は、ふるさと納税制度を活用した、市民活動を財政的に支援するための基金です。

令和5年度も『よこはま夢ファンド』にたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

このたび、令和5年度の活用状況についてご報告いたします。

これからも皆さまのお気持ちを大切にしながら、地域や社会に欠かせない市民活動を応援してまいります。

今後とも『よこはま夢ファンド』をよろしく願いいたします。



よこはま夢ファンドの仕組み

皆さまからのご寄附は、よこはま夢ファンド（横浜市市民活動推進基金）に積み立て、よこはま夢ファンドにあらかじめ登録しているNPO法人への助成や、組織運営（資金調達等）の各種講座等の開催などに活用させていただいております。

市民の皆さま、企業の皆さまなどからのご寄附

「よこはま夢ファンド（横浜市市民活動推進基金）」に積み立てます

登録団体への支援

●登録団体助成金

登録団体に対して事業費の助成を行います。福祉、環境、まちづくり、文化・スポーツなど、登録団体が実施する幅広い分野の活動を財政的に支援します。

●組織基盤強化助成金

登録団体が、安定的・継続的に運営を行うために、「人材」「資金」「情報」などの資源を充実させ、組織の力をつけていくための取組に助成します。

市民活動団体への支援

●各種講座の実施

組織運営等に関する講座を開催し、市民活動団体の活動を支援しています。

◆外部委員による審査について

各種助成金の申請については、次の審査会で審査を行います。

- ・横浜市市民協働推進委員会
- ・横浜市市民活動運営支援事業部会

よこはま夢ファンドの特色

特色1

寄附の際、支援したいNPO法人の団体名や活動分野を希望できます。

【 団体 】

登録しているNPO法人 255団体（令和6年9月末現在）

※よこはま夢ファンドのホームページに、登録団体の一覧が掲載されています。

【 活動分野 】

- ① 保健・福祉・子ども（保健・医療、福祉、子どもの健全育成）
- ② まちづくり・環境（まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興）
- ③ 文化・スポーツ（生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術）
- ④ 国際・人権・平和（国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画）
- ⑤ 経済・観光振興（情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興）

特色2

寄附していただくと税制優遇制度を利用できます。（ふるさと納税）

（個人の場合は所得税・住民税の控除、法人の場合は全額損金算入）

— ふるさと納税とは？ —

自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が税額控除される制度です。

（一定の上限はあります）

ふるさと納税額(寄附金額) (例:個人の方の場合)

所得税の控除額 (寄附金額-2,000円) × 所得税の税率	住民税の控除額 基本分(寄附金額-2,000円)×10%(住民税の税率) + 特例分 住民税所得割の2割が上限	自己負担額 2,000円
--	---	------------------------

・所得税の控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

・所得税率は課税所得に応じて異なります。

・住民税の控除(基本分)の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。

※寄附金控除を受けるには税務署で確定申告を行うか、ワンストップ特例申請書を提出する必要があります。詳細は総務省等のホームページをご確認ください。

— 返礼品について —

一定額以上をご寄附いただいた市外在住の寄附者の方には、寄附金額に応じて返礼品をお送りしています。

寄附メニューに共通してお選びいただける返礼品の詳細は、横浜市ホームページ「横浜市への寄付『ふるさと納税』」をご参照ください。

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/kifukin/kyoutsuhenreihin.html>)

令和5年度 よこはま夢ファンドの報告

－ 収入の部 －

<令和5年度にいただいたご寄附> 件数 559件 総額 83,669,131円

希望する団体への寄附 511件 計 75,468,631円

希望する活動分野への寄附 7件 計 6,340,000円

分野別内訳	保健・福祉・子ども	保健・医療、福祉、子どもの健全育成	5件	6,300,000円
	まちづくり・環境	まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興	0件	0円
	文化・スポーツ	生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術	0件	0円
	国際・人権・平和	国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画	2件	40,000円
	経済・観光振興	情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興	0件	0円

希望の分野や団体を指定しない寄附 41件 計 1,860,500円

※創設～令和6年3月までに、
合計5,101件 総額513,142,367円
の寄附をいただいています。

お名前と金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

澤田 眞治 様	20,000円	櫻井 和枝 様	44,000円
廣井 敬三 様	60,000円	本多 哲也 様	15,000円
平山 修 様	50,000円	尾上 浩一 様	100,000円
内山 勝文 様	11,000円	土井 裕一朗 様	18,000円
鶴田 静男 様	10,000円	薦 研一 様	15,000円
津崎 麻衣 様	11,000円	池永 秀幸 様	300,000円
大場 誠司 様	16,000円	大山 健一 様	50,000円
前田 治 様	40,000円	千代 康 様	196,000円
千代 継 様	200,000円	諏訪部 博道 様	2,000円
諏訪 隆三 様	30,000円	森本 聡 様	20,000円
森谷 太 様	10,000円	上村 隆 様	20,010円
志賀 大輔 様	10,000円	山仲 由里香 様	18,000円
山口 剛史 様	20,000円	三角 忠 様	50,000円
笹栗 一邦 様	100,000円	斎木 隆士 様	30,000円
佐藤 治 様	135,000円	佐々木 千昭 様	10,000円
根岸 秀行 様	10,000円	今野 歩 様	10,000円
高木 規行 様	44,000円	高田 邦久 様	150,000円
古市 明久 様	20,000円	窪田 太郎 様	20,000円
牛越 信雄 様	20,000円	久保田 龍士 様	90,000円

吉川 高弘 様	25,000円	吉崎 泰光 様	33,000円
吉永 道代 様	20,000円	横川 秀男 様	500,000円
榎本 守 様	50,000円	永野 健一 様	31,000円
宇都宮 佑亮 様	500,000円	井戸田 直子 様	40,000円
井元 健太 様	8,500円	益子 道子 様	100,000円
平石 眞司 様	20,000円	岡本 輝行 様	10,000円
よこはまシニア ボランティアポイント事業 ボランティア登録者 8名様分	19,000円	横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様	1,000,000円
有限会社 がんこ本舗 様	50,000円		

お名前の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

齊藤 剛毅 様	虻川内 亜也美 様	澤 祥幸 様	和久井 健司 様
鈴木 直亮 様	鈴木 智 様	林 恵子 様	梁田 賢悦 様
有田 美津子 様	有沢 嘉英 様	柳本 瑞枝 様	柳本 英樹 様
矢葺 大地 様	茂木 愛 様	満仲 由紀子 様	本橋 篤 様
豊田 茂芳 様	峯岸 恭博 様	片山 優 様	米澤 正紀 様
平野 岳 様	平井 裕二 様	平井 克樹 様	福本 佳那美 様
福島 成人 様	福田 憲明 様	美谷島 啓二 様	飛田 勇人 様
飯野 充彦 様	飯塚 純子 様	八谷 まち子 様	薄井 優 様
白松 浩 様	白岩 正明 様	梅田 英樹 様	二村 生瑠 様
難波 和也 様	内藤 達夫 様	内田 明子 様	徳田 千穂 様
藤田 恵理 様	藤田 郁司 様	湯浅 一郎 様	桃井 芳晴 様
渡辺 洋介 様	田幡 秀之 様	田口 繁雄 様	天野 裕 様
長井 麻美 様	中津 大介 様	中戸川 馨 様	中安 一雄 様
池田 敬士 様	大塚 具幸 様	大橋 亮司 様	大越 公 様
太田 弘 様	村田 重剛 様	村松 貴之 様	足立 修一 様
倉林 敦子 様	川島 慎也 様	川人 優子 様	千原 由美子 様
赤沼 大史 様	西田 哲也 様	西川 和樹 様	西山 雄二 様
西垣 真澄 様	菅原 誠治 様	神保 礼司 様	神田 昌実 様
森平 直子 様	森 二郎 様	森 耕太郎 様	新谷 千鶴 様
上浪 冬実 様	上浪 節子 様	上野 高弘 様	上田 豊 様
小林 良太 様	小林 美保 様	小林 淳志 様	小林 健吾 様
小林 久美子 様	小野山 章久 様	小山 晴也 様	寺嶋 之朗 様
寺元 弘幸 様	児島 ゆう子 様	児玉 直之 様	山田 光太郎 様

山仲 正博 様	山中 正竹 様	山口 大輔 様	山口 剛史 様
三平 洵 様	三富 晴二 様	三品 恭子 様	三宅 はつえ 様
三好 秀哉 様	坂本 憲治 様	坂本 郁穂 様	坂田 辰男 様
坂下 知美 様	佐野 修 様	佐藤 伸哉 様	佐々木 亮 様
荒川 静司 様	後藤 由紀子 様	後藤 奈央 様	結城 美喜子 様
君嶋 哲也 様	桑原 みどり 様	駒野 大樹 様	橋爪 啓子 様
牛之浜 吉継 様	宮地 茂樹 様	宮 雅芳 様	久保田 恵介 様
吉川 博子 様	吉川 高弘 様	吉岡 泰男 様	菊池 和雄 様
亀山 裕史 様	岩瀬 秀臣 様	花房 三千雄 様	夏井 敬史 様
加納 健 様	加藤 明香 様	加藤 邦夫 様	加田 千草 様
横山 義宏 様	遠藤 誠 様	永野 康子 様	永野 健一 様
永江 寛美 様	烏頭尾 尚 様	稲田 善光 様	井上 貴博 様
伊藤 朋子 様	伊藤 秋津 様	伊藤 宏樹 様	安藤 竜一 様
安藤 直之 様	安食 和博 様	安食 美和 様	綾戸 隆明 様
ラーソン ジャスティン コリアー 様	武藤 啓司 様	マーティン ジャック 様	寺本 義武 様
スローマン ニコラス 様	井上 美樹 様	都坂 和真 様	
PSP株式会社 代表取締役 依田佳久 様			

多くの皆さまから
たくさんのご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

令和5年度 よこはま夢ファンドの報告

－ 支出の部 －

登録団体助成金

37事業に、総額41,195,175円を助成

子育て支援、国際交流、子ども教育、環境についての啓発など、登録団体が実施するさまざまな取組に助成しました。

令和5年度 第1回 登録団体助成金

	団体名	事業内容	金額
1	こんにちは国際交流の会	広報事業(ホームページ維持管理及び会報発行)	120,000円
2	ひだまりの森	子ども・家庭支援の地域連携強化事業 子育て期の相談【リスナルケアラー】養成講座	120,000円
3	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営及びその周辺事業 (R5.4.1～R5.11.30)	8,540,000円
4	くでん学童	学童保育 通所エリア拡大・通所支援、社会貢献事業	1,549,255円
5	肺がん患者の会ワンステップ	がん医療の啓蒙及び広報に関する事業 肺がんBOOK VOL.8 作成	350,000円
6	カウンセリングオフィス SARA	低所得者支援事業	857,000円
7	どろん子会	地域の子育て支援事業 地域の親子おさんぽ会他	350,000円
8	YOKOHAMA TKM スポーツ&ヘルスケア	女子ラグビー選手&普及育成担当(YOKOHAMA TKM 所属)によるラグビー指導を通じた地域にお けるSDGs 推進、並びに普及育成活動	535,796円
9	YOKOHAMA TKM スポーツ&ヘルスケア	法人主催の戸塚区周辺住民の方々に向けた 運動教室の実施	137,140円
10	青空保育ぺんぺんぐさ	青空保育ぺんぺんぐさの保育事業と子育て支援事業	1,618,900円
11	ミニシティ・プラス	ミニヨコハマシティ2023	850,000円
12	若葉台	わかばダイバーシティスペースわか事業	70,000円
13	Only Live Once	ファミリーホーム設立運営事業と社会的養護を卒 業した者への自立支援事業として、振袖撮影のボ ランティア活動	162,000円
14	後見つぼみ	成年後見制度利用相談から申立支援～法人受任と、 普及活動及び人材育成	130,000円
15	日本の竹ファンクラブ	竹の学校事業「筍料理講座」	60,000円
16	よこはま里山研究所	活動拠点「はまどま」の持続的な運営に向けたコー ディネート	670,000円

令和5年度 第2回 登録団体助成金

	団体名	事業内容	金額
1	横浜発明振興会	NPO法人横浜発明振興会事業	200,000円
2	カウンセリングオフィス SARA	市民講座事業	88,500円
3	都筑文化芸術協会	ちいさな La Folle Journée(ラフォルジュルネ)	400,000円
4	ヴィエムシイ	講演会の開催事業	72,000円
5	ピースデポ	平和の実現をめざす調査・研究、出版及び啓蒙活動—「脱軍備・平和レポート」発行、「ピース・アルマナック」発行、脱軍備・平和基礎講座の開催、及び朝鮮半島情勢クロニクルのブログ発信—	2,217,000円
6	Umiのいえ	LINE や電話による無料相談事業	750,000円
7	横浜エクセレンススポーツクラブ	各種スポーツクラブの運営事業	18,000,000円
8	はぐくみ心理相談所	就労意欲がある低所得者への社会復帰支援プロジェクト(2020年度よりの継続4年目)	59,331円
9	YOKOHAMA TKM スポーツ&ヘルスケア	横浜市内小学生へのラグビー普及活動	164,468円
10	CAIT SITH	「うちの子を守る」事業	53,000円
11	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育て支援事業 まなびのひろば	795,000円

令和5年度 第3回 登録団体助成金

	団体名	事業内容	金額
1	神奈川県防犯セキュリティ協会	『防犯技術セミナー』の実施	113,330円
2	街の家族	住宅地の空き家を活用した生活の場のコミュニティハウスの運営 街の家族:三世代が力を合せて進める生活福祉事業の推進	105,000円
3	海の森・山の森事務局	子ども環境サミット開催事業(当NPOと京セラ株式会社さまとの協働事業)	573,000円
4	フードバンク浜っ子南	フードバンク活動を起点とする健康増進事業	50,000円
5	ひだまりの森	対人援助者のための勉強会 ～立場の異なる多様な視点で考える課題解決～	60,000円
6	アスリード	学校×地域の協働による『課題解決型ワークショップ』の導入 -中学校におけるキャリア教育プログラム『職業講話』の充実を目指して-	350,000円
7	オールさこんやま	団地と大学生の地域活性化協働事業	162,000円
8	横浜移動サービス協議会	第8回チャレンジドコンサート	270,000円
9	よこはま里山研究所	「NORA の山仕事」における安全性・環境性・作業効率の向上	312,455円
10	横浜こどものひろば	人間に出会う舞台芸術体験	280,000円

組織基盤強化助成金

5団体に、総額1,500,000円を助成

継続して活動を続けていくための「体制づくり」の強化を図る取組、組織の人材育成、広報の強化など、登録団体の組織基盤を強化させる取組みに助成しました。

また、取組の効果を高めるために横浜市からファシリテーターを派遣し、助成団体が組織・活動を自己評価する機会を設け、3団体に対し実施しました。

令和5年度 組織基盤強化助成金

自己評価実施団体

	団体名	事業内容	金額		団体名
1	H&K	NPO法人とし更なるステージへ進む為の「組織基盤強化と情報発信強化」	300,000円	1	Only Live Once
2	RCB大口夢	収支の大幅な見直しと新たな人員を迎えた事業内容の再構築	300,000円	2	Small Step
3	エバーラスティング・ネイチャー	NPO活動を継続的な体制にするための資金基盤づくり	300,000円	3	CAIT SITH
4	JECK	会員を増やし地域との連携を強化するための広報力強化に向けた取組み	300,000円		
5	コドモノナリ	運営資金調達のための広報力強化・寄付事業の基盤強化	300,000円		

各種講座の開催

団体の組織運営に関する講座を、市民協働推進センターと協働で実施しました。

令和5年度の実績

講座名	講座開催数	延べ参加者数
組織基盤強化ワークショップ	1回	7団体 9名

講座を受けた団体の声

・なんとなく感じていた「大変」が、何が課題で感じているのか可視化することができました。

助成金を活用した事例紹介

登録団体助成金を活用した団体の声

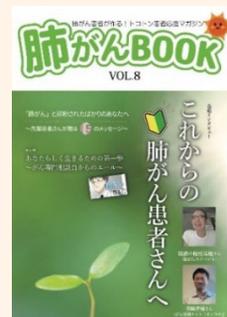
肺がん患者の会ワンステップ がん医療の啓蒙及び広報に関する事業 肺がんBOOK VOL.8 作成

ご寄附ありがとうございます。

当会は助成金を活用して肺がんBOOKという冊子を作成しています。

肺がんBOOK「VOL.8」はこれからの肺がん患者さんへと題して体験談を始め、診断されたばかりの方へ、先輩患者さんからのメッセージを掲載しました。

また、全国の患者会の紹介やがん相談支援センターをマンガでわかりやすく解説しています。全国680か所のがん診療連携拠点病院の相談支援センター等に発送し、多くの肺がん患者・家族に手に取っていただきました。



横浜発明振興会 NPO法人横浜発明振興会事業

『ひらめきを形に』

設立当時の横浜市長:半井清氏「資源のない日本の産業・経済を発展させるのは、頭の中から生まれてくる創造力」の熱い思いで発足した団体です。

11月開催「ハローよこはま2023」初出店。会員作品を展示（購入可能品～自分でする家事工夫まで）し、お気に入り投票を実施しました。

分散した投票結果と「こういうの欲しかった」「親の介護のときにコレが・・・」等の声も聞き、ヒラメキの必要性や楽しさをPR出来ました。



青空保育ぺんぺんぐさ 青空保育ぺんぺんぐさの保育事業と子育て支援事業

ご寄付ありがとうございます。

本会は保育士・スタッフの元で保護者も協力し合い、「自然の中でのびのびとした育ち合い」の青空保育事業(森のようちえん)を行っています。

子育て支援・情報発信等も行い、広く地域に対象を開いた外遊び体験会・講演会等には、2023年度は251組の参加がありました。「ひとりで子育てしないで」を合言葉にした、おたがいさまののびのび子育て、外遊びの大切さを広く知ってもらう機会になりました。



横浜こどものひろば 人間に出会う舞台芸術体験

「横浜こどものひろば」は芸術文化の力で人間への信頼と自己肯定感を育み共感する楽しさ、コミュニケーションを育てたいと活動しています。令和6年3月に実施した幼児・小学生向け人形劇は、妖怪の住む『かくれ山』へ迷い込んだ少年が冒険を通して困難に立ち向かっていく物語です。幼児～大人まで幅広い年齢層に生の舞台を届けることができ、開演前に子どもが企画した妖怪遊びコーナーを設けたことでより楽しめました。



ミニシティ・プラス ミニヨコハマシティ2023

こどもがつくるこどものまち「ミニヨコハマシティ」。コロナの影響がようやく終わり、こどもたちが一緒に行う活動ができるようになってきました。今回はじめて、現代アートの発信地である、バンカートステーションという場を借りて、横浜のアーティストさんともコラボして実施しました。ミニヨコハマシティは大人口出し禁止、こどもたちの自主性を大切に、こどもが自由な発想でつくるまちです。これらの活動を支えていただきたく、今後もみなさまのご支援をお待ちしています。



CAIT SITH 「うちの子を守る」事業

ご支援金で、外出先で飼い主さんに万が一のことがあった時にお財布に入れておく「猫が家にいます」カード、及び災害時等に備えて玄関外に貼っておく「猫が家にいます」シールを作成し、運営する譲渡型猫カフェでは里親さんに、さらに動物愛護フェスタよこはまにブース出店し、一般飼い主さんにも配布することにより、命の大切さをより多くの方へ伝えることができました。このような機会をいただきありがとうございます。



カウンセリングオフィスSARA 低所得者支援事業

SARAでは「もっと多くの人にカウンセリングを」をモットーに、様々な臨床経験を持つ公認心理師・臨床心理士が心の相談に応じています。ご支援の用途としては、生活保護世帯の方と住民税非課税世帯の方を対象に、通常50分5000円のカウンセリング料金を25回に限り半額の料金で受けることができる事業「ギフトカウンセリングたんぽぽ」を、昨年も継続して実施しました。1年間で、予定を上回る22名のお申し込みがあり、「この制度に助けられた」というお声をたくさん頂戴しております。より多くの方へこのサービスをお届けしたく、ご支援よろしくお願ひ致します。



どろん子会

地域の子育て支援事業 地域の親子おさんぽ会他

NPO法人どろん子会自然保育園どろん子は、地域の乳幼児を持つ親への子育て支援を行っています。月2回の地域の親子おさんぽ会では、園児と一緒に寺家ふるさと村の自然豊かな里山を散歩し、自然の中で同年齢の園児と遊び刺激を受けてもらい、安心安全な和食中心の給食も食べてもらいました。親向けに子育て相談、食育、講演会、園のイベント招待など実施し、地域の子育て仲間の拠点として発展しつつあります。今後もさらに多くの親子さんたちの参加を目指します。



アスリード

学校×地域の協働による『課題解決型ワークショップ』の導入 -中学校におけるキャリア教育プログラム『職業講話』の充実を目指して-

この度はご寄附いただき誠にありがとうございました。今までの受動的な『職業講話』から一歩踏み込み、企業が課題を提示、生徒たちが解決方法を考えプレゼンを行う『課題解決型職業講話』のプログラム化に向け、専門家にご意見をいただくなどのブラッシュアップに助成金を活用させていただきました。教育現場で求められる「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう今後も地域の皆様とも連携しながら、次代を担う若者のためにキャリア教育支援を行ってまいります。



海の森・山の森事務局

子ども環境サミット開催事業

2月14日に京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター内の大会議室をお借りし、この年度に出前授業で関わった小学生や中学生たちが会場またはオンラインで参加。また行政や企業の方たちにも参加いただき、子どもたちがこの年度に取り組んだプラスチックごみやマイクロプラスチックについて、その後どのようなことを考え、アクションを起こしたのかについて発信しました。会場およそ100名、オンラインおよそ180名の参加がありました。



日本の竹ファンクラブ 竹の学校事業「筍料理講座」

きれいになった竹林の恵みは「筍」です。
「筍料理講座」(筍を食べて食分野で竹林整備に参加)は、
4月と11月に会員で料理家の方を講師に迎えて
港北区と都筑区の地区センターで開きました。
計28名が春は筍和風ハンバーグ、秋は筍餃子をつくり
美味しい筍料理に舌鼓を打ちました。
竹林は毎年古くなった竹を間伐し、それと同じ本数の親竹を
選定して竹に育て、常に同じ本数密度を保っています。
不要筍を料理に利用する取組が、竹林管理の一環となっています。



街の家族 住宅地の空き家を活用した生活の場のコミュニティハウスの運営

こどもの国近くの空家で、三世代にわたる様々な交流が
日常の家庭の様な雰囲気のできる地域の居場所です。
食事や介護予防になる活動、子育て支援など
多彩な交流活動をしました。
不登校や行きしぶりに悩む親子の居場所にもなっています。
まさに「まち」の様々な人々が集い、協力し、
困りごととも解決していける姿と思います。
その様な中で賛同者のご協力を頂き、運営経費の凡そ1/3である
賃料の一部に使わせて頂きました。ありがとうございます。



組織基盤強化助成金を 活用した団体の声

H&K NPO法人として更なるステージへ進む為の組織基盤強化と情報発信強化

この度はご寄附を頂き誠にありがとうございました。
NPO法人H&Kは2019年4月に設立し、丸5年になります。「親と子のつどいの広場 ハッピーひろば」の運営
などで、継続性のある子育て支援活動を行っております。
頂いた助成金で、団体の理念や現在の社会・地域課題を広く知ってもらうためのホームページとパンフレットを
作成させて頂きました。他団体と連携し、地域・行政と協働するための分かりやすい広報ツールとなりました。
また、第三者評価機関 公益財団法人日本非営利組織評価センター(JCNE)の「グッドガバナンスチェック」を実施し、
様々な角度から法人を見直しました。
今後も地道な活動を通し「地域まるごと応援団」として社会貢献してまいります。

ホームページは下記のURLよりご覧頂けますので、ご一読いただけますと幸いです。
<https://h-k.yokohama/>

RCB大口夢

収支の大幅な見直しと新たな人員を迎えた事業内容の再構築

ご寄付を頂き、誠にありがとうございました。

子ども食堂を通じて、自分たちが目指す活動に対して運営費が足りていないことを、どうクリアしていくのかに焦点をあてました。

お子様が成長するにあたり、着られなくなった洋服の交換会や、ボランティアサンタによるクリスマスの本をプレゼントするイベントなど、年間通して多岐にわたり参加型の催しを行い、その中からボランティアスタッフも3名見つけることができ、一番課題となっていた人件費を大幅に減らす事が可能となりました。

参加するボランティアが様々なことにチャレンジ出来るような仕組みを段階的に作る必要がある事に気が付く機会を頂きました。

JECK

会員を増やし地域との連携を強化するための広報力強化に向けた取り組み

JECKにはJICA専門家派遣経験者が多く、NPO法人化5年目で

横浜市の組織基盤強化助成金の交付を受け、6名の基盤強化チームを編成、

広報力強化(新規広報パンフレット作成、ホームページ強化、専用ZOOMアプリ購入)により、

関連する大学生、教員にPRを実施、新規会員7名を獲得、会員数合計48名となりました。

我々のチームは分担して横浜市の各国際協カラウンジ等に面談調査を実施し、数か所に団体登録を実施、講演会、異文化料理体験等のイベント事業の可能性が出来ました。

JECK固有の多文化共生サロン(西区)の設備改修により、多文化共生サロンの準備が完了しました。

新しい気づきである留学生を含めたスタディツアーの横浜市の企業等への

訪問実施による留学生を含む就職支援活動等、新しい活動の可能性が出てきました。

エバーラスティング・ネイチャー

NPO活動を継続的な体制にするための資金基盤づくり

弊団体は21年目を迎えた団体ですが、設立当初から活動資金の大きな支えであった補助金が大幅減額になるという転換期を迎える中、「活動資金確保」が最大の組織課題でした。

夢ファンドの後押しを受けて、今まで挑戦してこなかった様々な資金獲得に挑戦しました。

例えば海外向けの資金集めや、サポーター協力型のクラウドファンディングなどです。

中でも成果のあった活動は、プロボノ支援の元での新規収入事業の開発です。

綿密な組織分析や話し合いを積み重ね、最終的に企業研修開発に取り組み、

研修内容の作成とプレゼン資料作成まで完了しました。

助成終了後の現在は、初めての企業研修が決まり実施に向けて準備中です。

これから研修の件数を増やすことで一定額の収入確保やご縁の拡大につながっていくことで、組織ミッションの達成を目指していきます。

コドモトナリ

運営資金調達のための広報力強化・寄付事業の基盤強化

学童、乳幼児保育、不登校児受入、子ども食堂と4つの事業を行っており、コドモトナリとしての事業を一つにまとめたサイトとパンフレットを作成しました。わかりやすくなったととても好評です。

ロゴや寄付サイトもできました。

ボランティア募集を拡大し、夏休み中は学生達が小学生の宿題をみたり遊び相手になりました。

数学が苦手な子に対してのサポートとプログラミング教室を週1回開いています。

企業との繋がりも増え、無料講座の開催や環境問題への取り組みイベントも開催しました。

よこはま夢ファンドへのご寄附の方法

寄

金融機関での 納付書払い

下記①②のいずれかの方法で
お申し込みください。

①寄附申込書をホームページより
ダウンロードし、必要事項を記入の上、
市民局市民協働推進課までお送りください。
(郵送、e-mail、FAX等)

URL:

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/default2021080203.html>

②よこはま夢ファンド寄附申込フォームで
必要事項を直接入力し、送信してください。

URL:

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/e6f0e6ab-86d5-4f5c-9b0a-0dddf6a899ade/start>



届いた「納付書」で近くの金融機関
窓口でお手続きしてください。

※「納付書」は申込後、1～2週間ほどで
お送りします。

附

クレジットカード払い マルチ支払い払い

(コンビニ決済、インターネットバンキング等)

下記のページのお好きなふるさと納税
ポータルサイトから、お申し込みください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/kifukin/kifu001.html>

寄附の申込 横浜市

検索



選ばれたふるさと納税ポータルサイト
内よりお支払い方法を選択し、お支払
いください。



寄附金の使い道について、ご希望がある
場合は、【必ず】下記リンク先の電子申請
システムから申請をお願いします。

URL:

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/24d370d8-25e6-40c7-9eb7-daa3370cf837/start>



横浜市から届く寄附金受領証明書
をお受け取りください。

税
の
控
除

ご自身で確定申告をする場合

寄附金受領証明書または納付書兼領
収書をもとに、税務署にて確定申告の
お手続きをしてください。

ふるさと納税ワンストップ特例制度 の適用をご希望の場合

横浜市あて寄附金額税額控除に係
る申告特例申請書を提出してくださ
い。

※ 詳しくは、市民局市民協働推進課「よこはま夢ファンド担当」までお問い合わせください。

TEL 045-671-4734 FAX 045-223-2032

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

令和6年10月発行
発行元:横浜市市民局市民協働推進課
よこはま夢ファンド担当
TEL 045-671-4734



よこはま夢ファンドホームページ
二次元バーコード